



2019年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社 マキタ
取締役社長 後藤 宗利

2018年11月6日

1



国際財務報告基準(IFRS)の任意適用について

2019年3月期第1四半期より、米国会計基準(USGAAP)に替えて、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。
また、前年同四半期及び前連結会計年度の財務数値につきましても、IFRSに組み替えて比較分析を行っております。

2

2019年3月期上期 連結業績



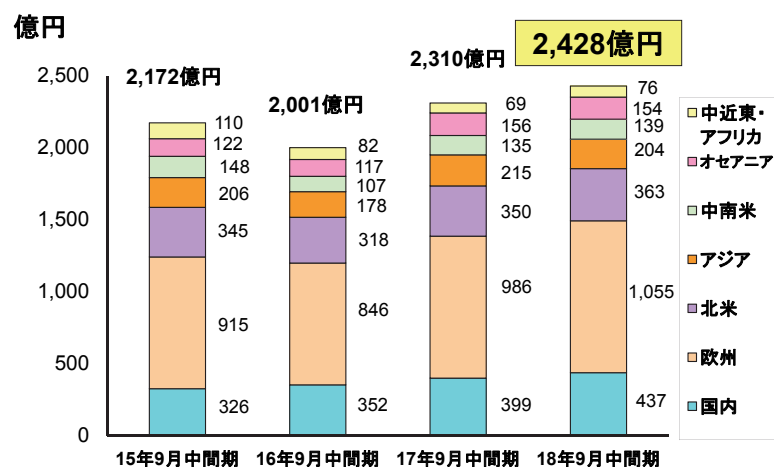
前年比

売上収益	2,428億円	+ 5.1%
国内売上	437億円	+ 9.6%
海外売上	1,991億円	+ 4.2%

海外比率 82.0% (17/9 82.7%)

3

地域別売上(中間期推移)



4

為替レートの実績



	18年3月期 上期	19年3月期 上期	
米ドル	¥ 111.04	¥ 110.26	0.7%の 円高
ユーロ	¥ 126.32	¥ 129.79	2.7%の 円安
人民元	¥ 16.42	¥ 16.74	1.9%の 円安

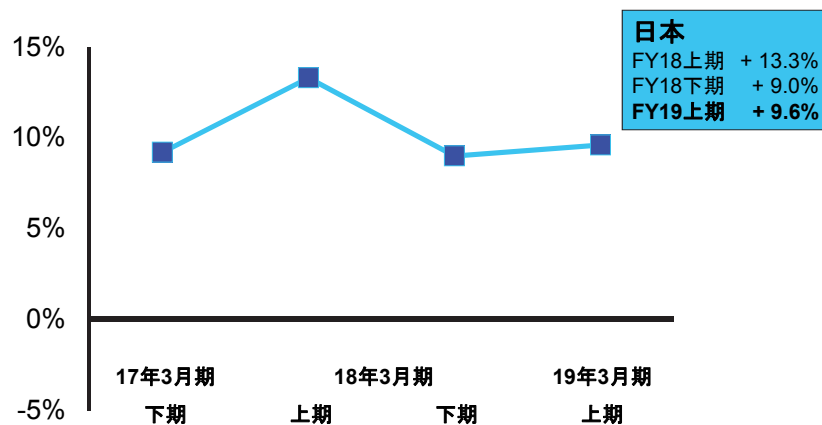
全通貨の加重平均で1%の**円高**
売上の**減少額** 20億円

5

現地通貨ベース売上動向



日 本



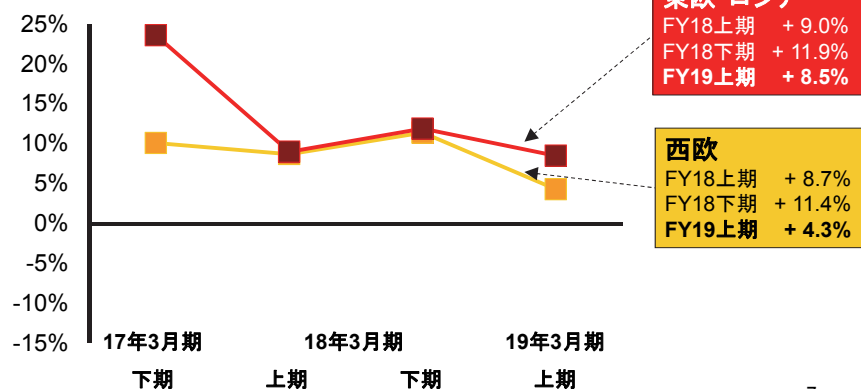
6

現地通貨ベース売上動向



欧州

前年同期比伸び率 + 5.9%

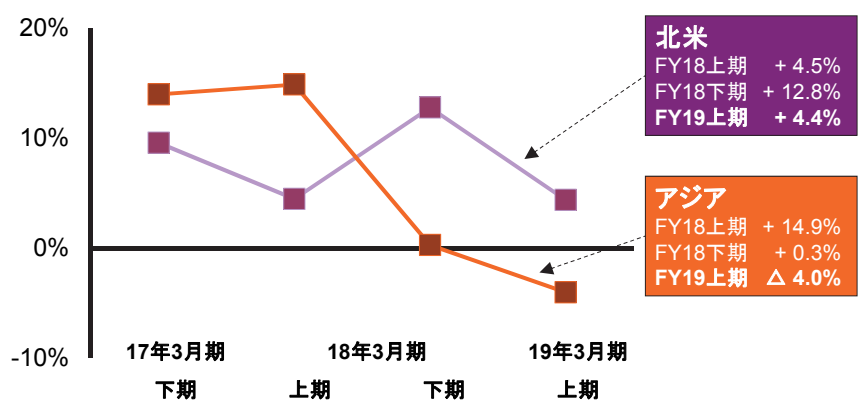


7

現地通貨ベース売上動向



北米・アジア

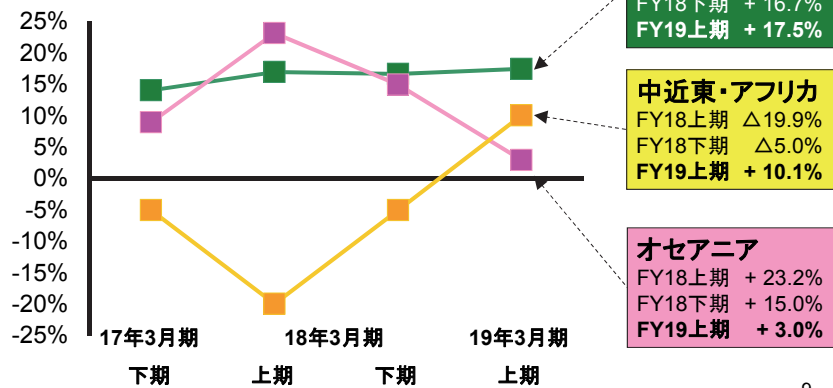


8

現地通貨ベース売上動向



中南米、オセアニア、中近東・アフリカ



9

リチウムイオンバッテリー製品 園芸用機器(OPE)



当期の新製品の一例

リチウムイオンバッテリー製品



- AC機並みの吸引力
 - 無線連動対応
- 充電式背負集じん機
VC265D



- パワフル&軽量
 - ボタンスイッチ
 - カプセル式
- 充電式クリーナ
CL108FD

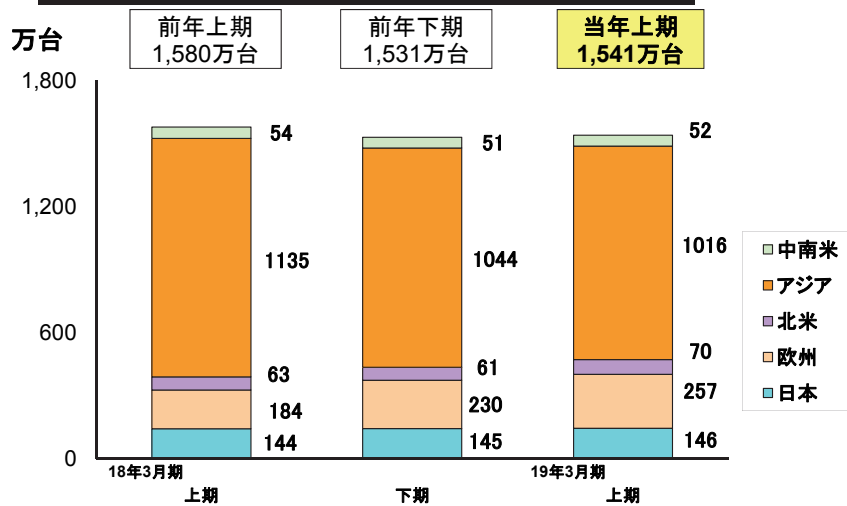
OPE製品



- エンジン式を超える軽さと使用感
- 充電式ヘッジトリマ MUH500Dシリーズ

10

地域別生産台数



棚卸資産(在庫)



2018年3月末 1,965億円

2018年9月末 2,154億円

189億円増加

〔 内訳: 実在庫 191億円増加
為替の影響 2億円減少 〕

12

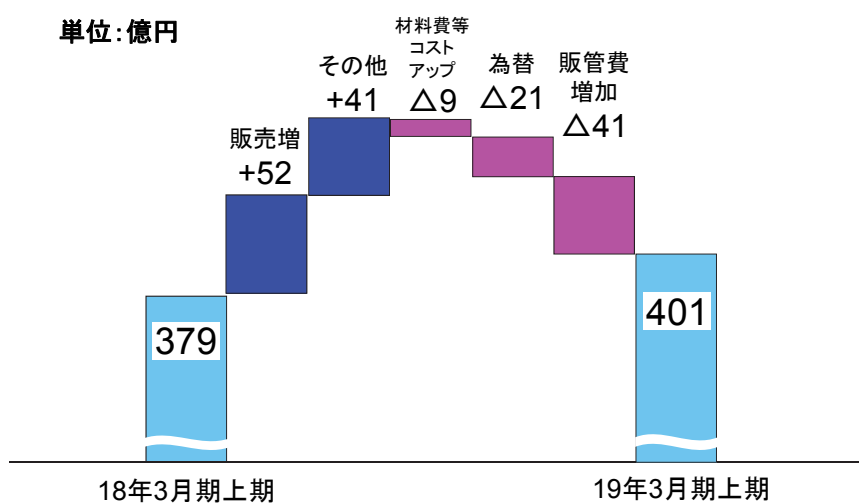
営業利益・売上原価・販管費



	2018年3月期 上期	2019年3月期 上期	前年比
売上収益	2,310億円	2,428億円	+ 5.1%
売上原価	△ 1,467億円	△ 1,526億円	+ 4.0%
売上原価率	△ 63.5%	△ 62.9%	0.6ポイント低下
販管費	△ 463億円	△ 501億円	+ 8.2%
販管費率	△ 20.1%	△ 20.6%	0.5ポイント上昇
営業利益	379億円	401億円	+ 5.6%
営業利益率	16.4%	16.5%	0.1ポイント上昇

13

営業利益増減要因



14

金融収益・税引前利益・四半期利益



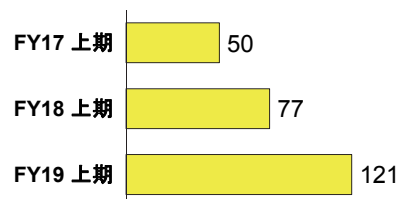
	2018年3月期 上期	2019年3月期 上期	前年比
金融収益 (△費用)	11億円	22億円	+ 11億円
税引前利益	390億円	423億円	+ 8.4%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	273億円	297億円	+ 8.5%
EPS	100.74円	109.33円	+ 8.5%

15

設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資 単位:億円

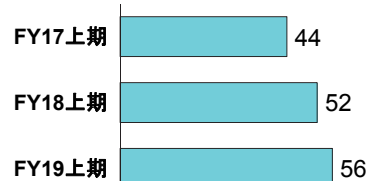


2019年3月期 上期の主な設備投資

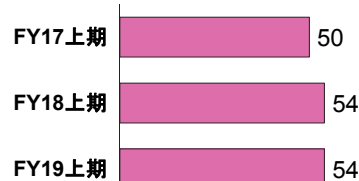
岡崎工場: 土地購入

ルーマニア工場: 拡張工事

減価償却費 単位:億円



研究開発費 単位:億円



16

マキタの取組み

- 新製品（コードレス化の推進）
- エンジンから充電へ
- 販売・サービス拠点の拡充

17

マキタの取組み

新製品（コードレス化の推進）

BLモータを搭載したハイパワーな製品

当期の新製品



充電式シャーレンチ
WT310D

- ・ AC機同等以上の能率
- ・ AC機特有の電圧降下およびコード破断による漏電の心配がない



充電式チップソーカッタ
CS553D

- ・ 最大切込深さ57.5mm
- ・ 厚さ12mmの鉄板もパワフルに切断
- ・ 作業負荷に合わせた自動変速機能

電動工具の
コードレス化推進

- ✓ 作業効率化
- ✓ 安全性の向上



現場の人手不足
対応への貢献

18



マキタの取組み

エンジンから充電へ

充電式園芸用機器 (OPE: Outdoor Power Equipment) の開発・拡販

当期の
新製品



充電式ヘッジトリマ
MUH500D

PR活動



展示会・体験イベントの開催

エンジン製品から
充電式製品への切替

- ✓ 排ガスゼロ (工具使用時)
- ✓ 騒音・振動の低減
- ✓ 軽量
- ✓ 操作性・メンテナンス性◎

19



マキタの取組み

販売・サービス拠点の拡充

顧客・地域密着スタイルの営業体制の強化

当期開設された拠点

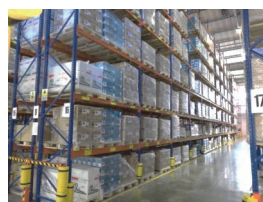
国	都市
インド	ムンバイ、 アーメダバード、 ハイデラバード
ベトナム	ニャチャン
ロシア	ウラジオストク



ニャチャン



上:ムンバイ
下:アーメダバード



ウラジオストク 屋内

業界随一の
アフターサービス

- ✓ 迅速な修理、
製品・部品供給
- ✓ 販売支援
- ✓ ユーザーニーズの
把握

20

マキタの取組み



拠点網を活かした取組み

顧客・ユーザーに対し、より直接的にアプローチ



拠点網を活かした
コミュニケーション

- ✓ コードレス製品の
パワー、メリットを
実際に体験
- ✓ 地域ごとに異なる
ユーザーニーズの
理解・掘り起こし
- ✓ 製品開発への
フィードバック

21



業績の見通し・配当

- 売上予想、生産計画
- 業績予想
- 設備投資、減価償却、研究開発
- 配当

22

2019年3月期 売上予想



前期比

売上収益	4,900億円	+ 2.7%
国内売上	860億円	+ 4.1%
海外売上	4,040億円	+ 2.4%
海外比率 82.4% (18/3 82.7%)		

通期 想定為替レート

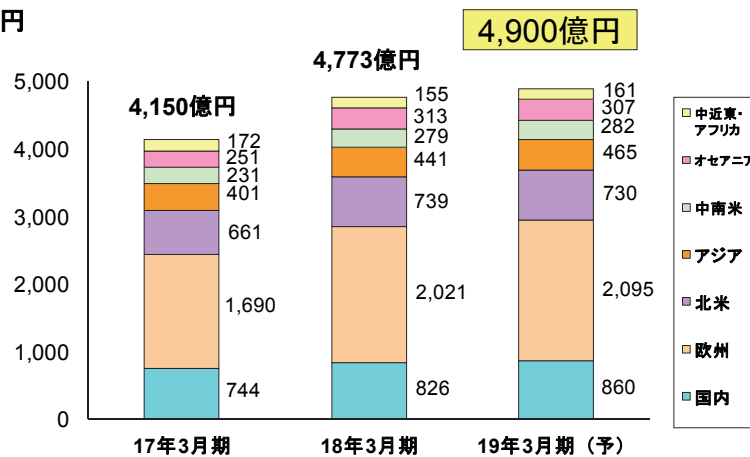
米ドル	ユーロ	人民元
105円	130円	16.8円

23

地域別売上予想



億円



24

2019年3月期 通期業績予想



	18年3月期	19年3月期	前期比
売上収益	4,773億円	4,900億円	+ 2.7%
営業利益	802億円	785億円	△ 2.2%
税引前利益	799億円	787億円	△ 1.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	549億円	548億円	△ 0.3%
EPS	202.39円	201.87円	-
ROE	10.4%	9.8%	0.6pts 低下

25

米中貿易摩擦による影響



	対象品目(当社関連)
第1弾(18年7月)、 第2弾(18年8月)	電材・電子部品、製品(一部)
第3弾(18年9月)	アクセサリ(一部)、製品(一部)

＜第1弾、第2弾＞

...主に電子部品(コントローラ等)が対象。その他、ごく一部の製品。

＜第3弾＞

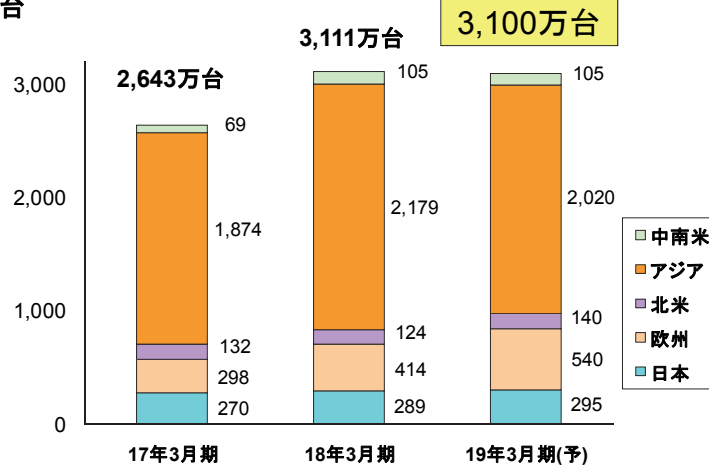
...砥石、マルノコ刃などのアクセサリが対象に。製品も対象品目増加。

26

生産計画



万台



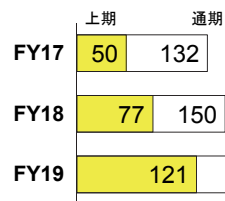
27

設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資

単位: 億円

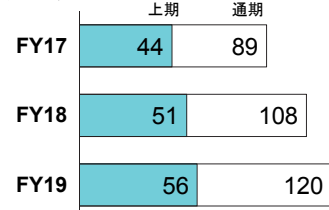


2019年3月期 500億円(予定)

- ・ 岡崎工場 新倉庫
- ・ 中国・ルーマニア工場の拡張、生産設備
- ・ 海外販社 倉庫など

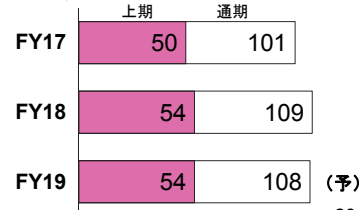
減価償却費

単位: 億円



研究開発費

単位: 億円



28

配当



基本方針	連結配当性向 30%以上	
	18年3月期	19年3月期
親会社の所有者に帰属する当期利益	549億円	548億円(予)
EPS	202.39円	201.87円(予)
特殊要因 (税引後)	—	—
1株当たり年間配当金	61円	未定(注)
中間配当	10円	10円
期末配当	51円	未定(注)
配当性向	30.2%	30%以上

(注)2019年4月開催予定の取締役会で連結配当性向30%以上となる配当案を決定。

29



<http://www.makita.co.jp/>

ここで記載されている見通しは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

30